

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			現時点では適切だと考えています。今後、利用人数が多くなる場合は教室を分けるなどして対応していく予定です。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			現段階では適切であり、今後の利用者増を見越して新たに職員を採用する予定です。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化や子どもにわかりやすい配慮などが適切になされているか		○		建物の構造上、限定的ではありますが、状況に応じて職員が対応します。
	4	事業所内は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			毎日の清掃を行っており、また利用していただく際も帰りに自身の周辺の片付けをルールとして設けています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			休憩室やパーテーションなど、希望に応じて個室やそれに近い状況で取り組めるよう対応しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			週1回のスタッフミーティングや月2回のケース会議での意見交換を通して業務改善を図っております。
	7	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年1回実施し、サービスの質の向上に反映させております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			週1回のスタッフミーティングや月2回のケース会議での意見交換を通して業務改善を図っております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部評価は行っておりませんが、外部関係機関の見学等を受け入れ、ご意見を参考にしながら業務改善を図っております。
	10	職員の資質の向上を行うために、研修を受講する機会や事業所内で研修を行う機会を確保しているか	○			定期的に外部研修へ職員が参加し、その内容をスタッフミーティング等を通して全体にフィードバックしております。
適切な 支援の 提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			規定の様式を元に作成した支援プログラムをホームページ上にて公開しています。
	12	アセスメントを適切に行い、個々の子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			モニタリングをおこない、毎回の指導の指標にしています。個別支援計画は児童へのヒアリングや保護者面談の内容を踏まえた上で、複数名の協議を経て作成しております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			主に支援に関わる職員が児発管とともに土台を作成し、それを児発管が検討・修正したうえで計画を作成しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			スタッフミーティングやケース会議を通して、支援計画を元に支援の方向性の共有を行っています。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		インフォーマルアセスメントを中心に、フォーマルなアセスメントは保護者からの情報提供に頼っている状況です。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			本人のニーズを元に、いずれの支援内容もカバーできるよう支援計画を立案しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムの立案は、スタッフミーティング等を通して必ずチームでおこなっております。

児童	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			取り組み内容については定期的に本人にヒアリングを行ったり、保護者と面談をしながら方向性を検討しています。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の状況にあわせて、活動プログラムの計画をたてています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎回担当者が相互に確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日に振り返りを実施し、気になる点があった場合は改善策を検討しています。
	22	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			サービス提供時間の終了後、児発管によって振り返りと記録を実施しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年3回、学期ごとに保護者との面談や児童へのヒアリングを実施しています。また、必要に応じて保護者や児童との面談・ヒアリングを行っています。モニタリングや計画の内容についても、アンケートのご意見や研修内容をふまえて改善を図っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			本人のニーズに合わせて、学習を中心に創作やコミュニケーション、ソーシャルスキルのトレーニングを組み合わせ支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			日々の取り組みについては子どもたちと話し合いながら決めています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			必要に応じて児発管および支援員が参加しています。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			必要に応じて連携が取れる体制を築いています。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			児童の在籍校とは必要に応じて情報共有をおこなっております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		受け入れ対象年齢が原則小学校3年生以上であるため該当者がおりません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じて個別対応しております。
	31	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受ける機会を設けているか	○			個別の連携の他、地域のネットワーク(なんたんネットワーク会議)を主催し意見交流の場としています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			フリースクールを併設しており、主に土曜に開催するイベントなどでの交流機会があります。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			児発管、もしくは管理者、支援員が参加しております。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			気になることがあった場合、電話もしくは対面にて連絡を取り合います。状況に応じて連絡ノートも活用しています。
	35	家庭の対応力の向上を図る観点から、家族に対してペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムや、家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	○			年2回、家族理解に関したトレーニング機会(親力アップ講座)を設けております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時に実施しております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			毎学期(年3回)の保護者面談および子どもへのヒアリング、日々の対話を元に、その都度支援の方向性を検討しています。

保護者への説明責任等	38	「放課後等デイサービス計画」を示して支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			計画作成時および更新時には保護者へ計画の内容を示し、同意を得ています。
	39	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的な保護者面談のほか、ご希望に応じて主に管理者や指導員が対応しております。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年3回程度、親の茶話会を実施しております。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			普段のコミュニケーションや面談機会を通して意見交流をおこない、苦情対応の迅速化を図っております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			定期的な通信等の発行はありませんが、行事ごとにお知らせを送付したり、ホームページにて情報の発信を行っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			全スタッフに個人情報の扱いについての注意を周知し、個人情報が記載された書類等はシュレッダーにかけた上で廃棄しております。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的、聴覚的サポートなど、個別の障害特性に応じたコミュニケーションの配慮をおこなっております。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			クリスマスコンサートや外部講師を招いた「出会い場」などの機会を設けております。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○			ファイリングしたものやデータ化したものを事業所内やホームページでいつでも閲覧できるようにしています。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			BCP(災害、感染症)を策定し、毎年研修を行っているほか、年2回の避難訓練を実施しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			初回アセスメント時や利用契約時に確認をしています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		食事の提供はしていませんが、お楽しみ会等で市販の菓子類を提供する場合などでは、個々人のアレルギーに配慮した上で実施しております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全計画を作成し、年2回の避難訓練を行っています。今後、各種対応マニュアル、ガイドラインの検討を定期的に行っていく予定です。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			避難訓練の実施について、毎回書面で保護者に通知しています。
	52	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ファイリングしていつでも閲覧できるようにしていますが、事例が少なく、現状はスタッフミーティングやケース会議での共有が主になっています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎年虐待防止研修に職員が参加し、その内容を虐待防止委員会において話し合う機会を定期的に設けています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束を行う可能性がある児童の受け入れはありませんが、緊急やむを得ず身体拘束等を行う場合は要件(切迫性、非代替性、一時性)を満たしているか判断した上で行うことを職員に周知しております。また、身体拘束等を行った場合は保護者への報告および記録を行います。心理的な拘束(スピーチロック)についても研修等で職員に周知しています。